



医薬品情報学講座 教授

堀 里子

ホリ サトコ

博士（薬学）

Professor

Division of Drug Informatics

HORI Satoko

Ph.D. in Pharmacy

育薬／地域医療／
医療安全／学際情報学

post-marketing development of drugs／
community health care／
patient safety／
interdisciplinary information studies

研究概要

医薬品を適正に使用する上で、製造販売承認を受けた時点での医薬品情報は十分ではありません。そのため、市販後に見出されるさまざまな課題（有効性・安全性情報、インシデント・アクシデント、ニーズ等）を解決し、得られた新しい情報を付加してより正しく安全に医薬品を使っていくことが重要です。

私たちは、情報学（informatics）を基盤としながら、医薬品適正使用と医療安全の推進を目標として、リアルワールドの情報を効率的に抽出する仕組みを新たに作り、そこから抽出した課題を種々のアプローチで解決し、最終的には新規エビデンスの創製やシステムの開発といった形で臨床現場に還元したり、医薬品の改良・進化の提案（育薬）につなげることを目指しています。

医療・健康情報の収集・共有と活用に関する研究

医薬品適正使用や医療安全を推進するうえでは、医療・健康情報を迅速に捉えることが不可欠です。当講座では、地域薬局を核としたヘルスケアモデルの確立に取り組んでいます。これらのモデルを通じて集積された情報を活用して、薬物治療の個別適正化のためのエビデンス創製（副作用予測モデル等）、医療安全のためのエビデンス創製（投薬ミスの事前予測法の確立等）を進めています。このほか、非医療データを医療に活用するための研究（例：SNS からの治療上の悩みや副作用症状抽出技術の開発）にも注力しています。

医療・健康情報の解析・評価、実装に関する研究

臨床現場における諸課題を解決するための研究として、医薬品の有効性・安全性・経済性に関する評価手法の確立や新規エビデンスの創製、機械学習を用いた医薬品取り違え防止システムの開発、薬物治療における意思決定支援のための研究にも取り組んでいます。

私たちは、情報学関連分野とのインタラクションと先進技術との融合により、医薬品適正使用・育薬、医療安全の推進を目指します。自由で柔軟な発想を大切にしながら、“薬の安心安全”を推進する学際的な「医薬品情報学」研究の発展とそれらを支える人材育成を担っていききたいと考えています。

The aim of our research is to promote the proper use of drugs, the post-marketing development of drugs (IKUYAKU in Japanese, which may be translated as “fostering drugs”) and patient safety. For that purpose, we develop an efficient system to collect information on clinical issues (including efficacy and safety of drugs, incidents/accidents involving drugs, and needs for pharmaceuticals) from medical care staff and patients in community health care settings. Our work will include research on personalization of pharmacotherapy, development of systems to avoid medication errors, and so on.

Key features of our approach will be the interdisciplinary information studies and collaborative studies with researchers in other fields.

主な論文

- 1) Kizaki H, Ota T, Mashima S et al. *BMC Health Serv. Res.* 21(935), 2021.
- 2) Ito G, Kawakami K, Aoyama T et al. *PLoS One* 16(7) e0254726, 2021.
- 3) Kabeya K, Satoh H, Hori S et al. *Patient Prefer Adherence.* 15: 863-870, 2021.
- 4) Kabeya K, Satoh H, Hori S et al. *Patient Prefer Adherence.* 14: 1267-1274, 2020.

